

## I. 薬局・医療機関関連

### I. 初診からオンライン診療

厚労省は新型コロナウイルス感染症の拡大に際して時限的・特例的扱いとして、麻薬や向精神薬の処方を除き、**初診から電話や情報通信機器での対応を認める事務連絡**を出した。再診に関しても電話や情報通信機器を使用し、処方を出すことが出来る。一部負担金は銀行振込、クレジットカード決済、電子決済なども認められる。これは時限的な措置であるが、ここで蓄積された知見は、今後のオンライン診療展開に少なからず影響を与えるだろう。

### II. JMAT をホテルに派遣

日本医師会は、**新型コロナウイルス感染症対策に災害医療チームを派遣**する。軽症者を収容する都内病院にすでに派遣しているほか、今後は患者受け入れを行う施設や仮設の診療所、感染者が出るなどして人的リソースが不足して診療が維持できない医療機関などを対象に行っていくことになる。

### III. 21年度専攻医募集でシーリング

日本専門医機構は、**医道審議会医師専門研修部会に専攻医の採用数制限方針を提示**した。2021年度から研修を開始する専攻医の採用数制限、いわゆるシーリングに関しては2018年の医師数が2018年と2024年の必要医師数と同じか、それを上

回る都道府県の診療科に対し実施する予定である。ただし外科、産婦人科、病理、救急、総合診療科などは除く。また、採用数が少ない都道府県の場合、シーリング数が5以下の場合にはシーリング対象から外すなどの措置を取る予定である。

### IV. 精神医療審議会、Web開催可能に

医療保護入院者の入院届や措置入院者の定期報告書などを審査する精神医療審議会の開催に関し、**Web会議システムの活用など、対面以外の方法を採用できるとする事務連絡を都道府県や指定都市に対し行った**。参加者同士の感染などのリスクを避けるための措置である。

### V. 第二期健康・医療戦略

政府は2020年から2024年を期間とする**第二期健康・医療戦略を閣議決定**した。戦略の中身としては「医薬品」、「医療機器・ヘルスケア」、「再生・細胞医療・遺伝子治療」、「ゲノム・データ基盤」、「疾患基礎研究」、「シーズ開発・研究基盤」の6つのプロジェクトにわけ、世界最高水準の医療の提供に資する医療分野の研究開発の推進、健康長寿社会の形成に資する新産業の創出及び国際展開の推進を目指していく。

## II. 行政・技術関連情報

### I. うつ状態の熱帯魚作製

鹿児島大学水産学部の研究チームは、うつ状態の熱帯魚「ゼブラフィッシュ」の作製に成功した。不安を抑制するホルモンである神経ペプチド Y の遺伝子を傷つけ機能しないようにしたところ慢性的に弱いストレスを抱え、コミュニケーション能力の低下や不安や恐怖といった人間同様の精神的不調を示した。うつ病発症のメカニズム解明や薬剤開発への応用が期待できる。

### II. ソニー、胸部 CT 診断支援

ソニーとエムスリーは、新型コロナウイルス感染症対策として、胸部 CT 画像を遠隔地にいるエキスパート読影医に依頼できるサービスなどを展開するための協業を開始したと発表した。ソニーの技術とエムスリーの医療従事者ネットワークで新型コロナウイルス感染症に立ち向かっていく。

### III. 入浴が心疾患リスク低減

大阪大学大学院の研究チームは、入浴が心疾患リスクを低減することを明らかにした。1 週間の入浴頻度が 0~2 回、3~4 回、5~7 回の 3 つのグループに分けて 1990 年から 2009 年まで追跡し、既知の心疾患危険因子と食事因子を調整して入浴頻度と心疾患リスクを比較したところ、入浴頻度が最も高い群は、

最も低い群に対し 28% リスクが低いことが分かった。ただし、心臓突然死とくも膜下出血ではリスク関連は見つけられなかった。またこのリスク低減は熱いお湯でも変わらない。

### IV. 介護事業所閉鎖 261 施設

厚労省は 4 月 7 日に緊急事態宣言が出された 7 都府県において、介護事業所あわせて 261 施設が自主休業を行っていることを公表した。そのうち 255 施設はデイサービスや短期入所施設であった。休業要請の対象事業ではないが、利用者である高齢者への感染リスクを避けるために判断したものと考えられる。今後、同様の動きが広がると家族の負担が拡大するため、いかに安全に事業を継続させるかが課題になる。

### V. 緊急性のない歯科治療延期を

厚労省は、歯科医師に対し新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のため、緊急性のない歯科治療は延期するよう求めた。ウイルスを含んだ唾液など体液に触れる機会が多く、歯を削る際など飛沫が飛び散るため、院内感染防止の徹底が難しい。飲食店なども客数減少で経営危機に瀕しているようだが、経営環境が悪化している歯科診療所も、医療機関でありながら、厳しい状況に置かれている。

### Ⅲ. 企業関連情報

#### I. 武田薬品、ゲノム医療基盤構築

武田薬品工業と東北大学東北メディカル・メガバンク機構は、全ゲノムリファレンスパネルを用いた共同研究契約を締結したと発表した。一般住民1万人のデータをもとに、日本人に特徴的な遺伝子型を探索するほか、脳MRI画像なども含めた健康情報・医療情報の統合的解析による新薬や治療法の研究開発を進めていく考えである。

#### II. サノフィ、CDA 治療薬を申請

サノフィはヒト化モノクローナル抗体製剤「スチムリマブ」に関し、**寒冷凝集素症を適応症とする承認申請**を行った。承認されれば世界で初めての同疾患の治療薬となる。CDA は重篤な慢性希少血液疾患で、免疫系の一部である補体経路が自己の正常な赤血球を破壊するため、慢性的な疲労や貧血、溶結性発作があり血栓塞栓症や若年死のリスクが高まる病気である。

#### III. 2020年10月、オルガノン設立へ

MSD はグローバルの組織改編の流れを受けて、日本においても「**オルガノン株式会社**」の会社設立登記を完了させ、2020年10月に子会社として設立する準備を進めている。オルガノンはウィメンズ・ヘルス領域を中心とした事業を展開し、オンコロジーやワクチン、病院製品、アニマルヘルスなどは

MSD が注力する。

#### IV. 持田、新中計

持田製薬は2020年度から2022年度の中期3か年計画において、**2022年度売上1040億円、営業利益100億円**を目指し、期間内に新規高純度EPA製剤「イコサペント酸エチル」と吸入型肺動脈性肺高血圧症治療薬「トレプロスチニル」の2つの新薬承認取得を目標として掲げている。また、イドルシア社と共同開発中の不眠症治療薬「ACT-541468」の開発推進にも力を入れていく。

#### V. 武田、CSLCOVID-19 治療薬開発

武田薬品工業やCSL ベーリング、欧州に基盤を置く医薬品企業4社などあわせて6社が**新型コロナウイルス感染症治療薬となる血漿分画製剤の開発を進める提携契約**を締結したと発表した。血漿分画製剤領域に強みがある企業が集結し、抗SARS-CoV-2ポリクローナル高度免疫グロブリン製剤の開発を目指す。日米欧で新型コロナウイルス感染症から回復した患者から血漿を採取しウイルス不活性化などの処理を行った後、精製し数か月以内に治験を開始する予定である。6社が提携することで、開発期間の短縮が期待できる。また、今後ほかの企業や機関が提携に加わる可能性もある。

## IV. 展望

### I. トップの存在意義

新型コロナウイルスへの対応で、各国、各地方のトップに様々な評価が下されている。中曽根元総理が言うように政治家は歴史法定の被告であり、本当の評価は今日が歴史になってから下されるだろうが、今の段階で市民が支持するトップは**断固とした態度で感染阻止に向けた対応をする人たちのようだ**。危機的状況に陥った時、人は、自分は大丈夫だろうとか、実は大事ではないのではないかと、リスクを過小評価しがちだが、その希望的観測を打ち消し、リスクを正しく評価して場合によってはルールを無視した対応が称賛されることがある。

米国空母セオドアルーズベルトの艦長は艦内での感染症発生を受け、通常のレポートライン以外にも情報を発信し支援を求めた。この行為により艦長職を解かれたが、部下たちからは喝さいを浴びた。軍隊である以上、感染者情報は弱点になる。また、どこにスパイがいるかもわからない。決められたルート以外に情報を出せば、敵に漏れる恐れもある。しかし、通常ルートでは感染拡大を防げないと判断したのだろう。**感染拡大を情報が洩れるよりも大きなリスクと捉え、規定外の行動に出た**のだろう。古い話だが、タイタニック号沈没時の船長はこの逆の判断をした。タイタニック号は付近の船舶から巨大な冰山がある事を知らされていたが、予定通りの到着を目指し、ほぼ減速せずに冰山のあるエ

リアに侵入、あの悲劇を招いた。**危機を軽視し通常時のルールを守ろうとしたことが要因**だったのだ。

平穏で同じことが繰り返される日常は多くの人にとって居心地が良い。また、世間も組織も、同じことが繰り返される前提で効率よく回っている。そのため、日常を断ち切るというのは、平穏を乱し効率悪化を招くことになる。しかし、目の前の危機が、そのコストを払ってでも避けるべきものであれば、その素早く決断を行い、実行に移させる。そうすることでトップは評価をされるのだ。そのためには**危機の大きさを正當に評価する能力、そして日常を断ち切る決断ができる勇気**、そして決断を理解させ、**行動を変えさせるコミュニケーション力**、これらがトップに必要なだ。

危機とは自然災害に限らない。ビジネス環境の変化も同じだ。環境が大きく変われば通常のやり方は通用しなくなる。この危機を感知し、大ナタを振るえる能力がトップには必要なのだ。危機が生じなければ役に立たない能力ではあるが、戦略立案はブレインが、実行は現場が出来る。しかし決断と命令はトップしかできない。トップにその能力と意識があるかどうか、棚卸が必要だろう。ちなみに、船の規模にもよるが、船長などは部長・課長クラスだ。トップとは何も社長だけでない。意思決定をする機会がある人間はみな、トップの能力を持っていた方が良い。(武田)

## V. 市場動向レポート

### I. 医療と自治体の関係

新型コロナウイルス感染症により、**医療に対する注目度**が非常に高まっております。医療関連のニュースを見ない日はない状態だ。そこで報道されるのは、医療従事者がいかに激務の中で踏ん張っているか、病院病床がどれほど不足しているか、院内感染がいかに恐ろしい事なのか、などだ。筆者自身、地方自治体の首長が医療提供体制に関し、今回ほど詳しく、高頻度に市民に報告する場面を見るのは初めてだ。ここでは、病床をいくら確保できたとか、医療崩壊を防ぐために外出を控えてほしいとか、具体的な発言がなされている。

以前から地域医療計画というものがあるように、**医療提供体制は都道府県が中心となって整備**することになっている。このような事態になる前は、医療連携体制の構築、医師偏在解消、地域包括ケアシステムの整備、病床の削減など、自治体が主体となって行っているが、これらに対しどこまで首長が積極的になっていただけるか。

危機的状況を経験すると、価値観が大きく変わることがある。例えば2011年の震災後、日本のエネルギー政策は原子力から火力に大きくシフトした。Co2削減よりも脱原発が重要となったのだ。

我が国の医療に関する価値観も変わるだろう。最前線での医療従事者の奮

戦を目の当たりにすれば、**医療者の働き方改革**には追い風が吹くだろう。診療報酬改定のたび、医療の安全、**院内感染対策**が掲げられているが、改定の都度打ち出されており、なんとなくマンネリ化していた。しかし、様々な施設で院内感染が起きている現状を見ると、まだやるべきことは多いだろう。院内感染が地域医療の崩壊につながる現実を受けて、より積極的な対策が進められるだろう。

そして、**過剰病床問題**だ。つい数か月前まで都道府県の担当者は病床削減と言っていたが、ここにきて感染症対策で病床確保に動いた。そして記者会見で知事たちが何床の病床を確保できたと手柄を報告する。横浜市では、市民病院の新築移転に伴い取り壊し予定にしていた旧施設をそのまま病床として利用する予定にしている。それくらい病床確保が重要になっている。医療機関側も、自治体の要請があり、何とか病床を提供しているのだろう。そんな思いでつながった首長と医療機関が、危機を脱したのち、もはや不要と、再び病床削減を進められるだろうか。感染症の脅威に対する備えが病床という箱物から、感染防止のようなノウハウ、そして医療スタッフの人数に至るまで充分ではなかったということが分かった。これに対する備えは今後の重要課題になるだろう。(武田)

# 薬経連ニュース2020年4月22日号

## VI. 数字で見る医療提供体制（都道府県別後発品比率 19年10月）

		平成25年度										令和元年度																			
		4月～3月		4月～3月		4月～3月		4月～3月		4月～3月		4月～3月		4月～10月		4月～9月		9月		10月											
割	全 国	47.9	56.4	60.1	66.8	70.2	75.9	74.6	75.3	77.1	76.0	78.4	78.3	78.7	79.1	合	北海道	48.3	57.2	61.6	68.1	71.6	77.1	75.8	76.4	78.4	77.5	79.9	79.8	80.3	80.7
	青 森	50.6	59.3	62.7	68.7	71.6	76.6	75.5	76.2	77.7	76.7	79.0	78.8	79.2	79.7		青 森	50.6	59.3	62.7	68.7	71.6	76.6	75.5	76.2	77.7	76.7	79.0	78.8	79.2	79.7
	岩 手	53.8	62.6	66.3	73.4	76.3	81.9	80.9	81.5	82.9	82.1	83.9	83.7	84.2	84.7		岩 手	53.8	62.6	66.3	73.4	76.3	81.9	80.9	81.5	82.9	82.1	83.9	83.7	84.2	84.7
	宮 城	49.9	58.6	62.1	69.3	73.0	79.0	77.8	78.6	80.1	79.2	81.6	81.4	82.0	82.4		宮 城	49.9	58.6	62.1	69.3	73.0	79.0	77.8	78.6	80.1	79.2	81.6	81.4	82.0	82.4
	秋 田	42.1	53.1	58.2	66.7	70.4	76.8	75.6	76.4	77.9	77.1	79.5	79.3	79.9	80.4		秋 田	42.1	53.1	58.2	66.7	70.4	76.8	75.6	76.4	77.9	77.1	79.5	79.3	79.9	80.4
	山 形	53.1	62.9	66.1	71.6	74.4	79.9	78.8	79.7	80.8	80.0	82.0	81.9	82.5	82.8		山 形	53.1	62.9	66.1	71.6	74.4	79.9	78.8	79.7	80.8	80.0	82.0	81.9	82.5	82.8
	福 島	45.4	53.5	58.0	65.8	69.9	76.2	74.9	75.8	77.3	76.3	79.0	78.8	79.5	79.9		福 島	45.4	53.5	58.0	65.8	69.9	76.2	74.9	75.8	77.3	76.3	79.0	78.8	79.5	79.9
	茨 城	45.4	54.5	58.6	66.2	69.7	75.2	73.9	74.8	76.4	75.4	77.9	77.7	78.3	78.8		茨 城	45.4	54.5	58.6	66.2	69.7	75.2	73.9	74.8	76.4	75.4	77.9	77.7	78.3	78.8
	栃 木	47.5	54.7	58.7	66.4	70.4	76.7	75.3	76.3	78.0	76.9	79.3	79.2	79.7	80.1		栃 木	47.5	54.7	58.7	66.4	70.4	76.7	75.3	76.3	78.0	76.9	79.3	79.2	79.7	80.1
	群 馬	51.9	60.4	64.0	70.4	73.7	79.1	78.1	78.8	80.1	79.3	81.3	81.1	81.5	81.9		群 馬	51.9	60.4	64.0	70.4	73.7	79.1	78.1	78.8	80.1	79.3	81.3	81.1	81.5	81.9
	埼 玉	49.9	58.1	61.4	68.1	71.4	76.9	75.6	76.3	78.1	77.1	79.3	79.1	79.6	80.0		埼 玉	49.9	58.1	61.4	68.1	71.4	76.9	75.6	76.3	78.1	77.1	79.3	79.1	79.6	80.0
	千 葉	49.2	57.2	61.1	67.6	70.8	76.5	75.2	75.9	77.6	76.6	78.9	78.8	79.2	79.6		千 葉	49.2	57.2	61.1	67.6	70.8	76.5	75.2	75.9	77.6	76.6	78.9	78.8	79.2	79.6
	東 京	44.9	53.2	56.6	62.4	65.9	71.6	70.1	70.8	73.0	71.8	74.5	74.4	74.9	75.3		東 京	44.9	53.2	56.6	62.4	65.9	71.6	70.1	70.8	73.0	71.8	74.5	74.4	74.9	75.3
	神 奈 川	47.7	56.2	59.4	65.5	68.6	74.0	72.7	73.4	75.2	74.2	76.5	76.3	76.7	77.2		神 奈 川	47.7	56.2	59.4	65.5	68.6	74.0	72.7	73.4	75.2	74.2	76.5	76.3	76.7	77.2
	新 潟	48.5	56.7	60.7	68.7	72.6	78.3	77.3	78.0	79.3	78.5	80.7	80.6	81.1	81.5		新 潟	48.5	56.7	60.7	68.7	72.6	78.3	77.3	78.0	79.3	78.5	80.7	80.6	81.1	81.5
	富 山	52.1	60.0	63.3	70.5	74.2	79.4	78.3	79.2	80.4	79.5	81.6	81.5	81.9	82.3		富 山	52.1	60.0	63.3	70.5	74.2	79.4	78.3	79.2	80.4	79.5	81.6	81.5	81.9	82.3
	石 川	49.0	57.8	62.3	69.2	72.7	77.9	76.8	77.6	78.9	78.2	79.8	79.6	80.1	80.6		石 川	49.0	57.8	62.3	69.2	72.7	77.9	76.8	77.6	78.9	78.2	79.8	79.6	80.1	80.6
	福 井	50.8	60.0	64.0	71.0	74.7	79.7	78.7	79.4	80.6	79.7	81.4	81.3	81.5	81.8		福 井	50.8	60.0	64.0	71.0	74.7	79.7	78.7	79.4	80.6	79.7	81.4	81.3	81.5	81.8
	山 梨	42.6	48.8	52.8	59.6	64.0	71.8	70.1	71.5	73.4	72.1	75.9	75.6	76.6	77.0		山 梨	42.6	48.8	52.8	59.6	64.0	71.8	70.1	71.5	73.4	72.1	75.9	75.6	76.6	77.0
	長 野	51.6	61.2	64.7	71.1	74.0	79.4	78.4	79.2	80.3	79.6	81.3	81.2	81.5	81.8		長 野	51.6	61.2	64.7	71.1	74.0	79.4	78.4	79.2	80.3	79.6	81.3	81.2	81.5	81.8
	岐 阜	46.8	55.1	58.8	65.6	68.8	74.4	73.1	73.9	75.5	74.6	76.7	76.6	77.0	77.5		岐 阜	46.8	55.1	58.8	65.6	68.8	74.4	73.1	73.9	75.5	74.6	76.7	76.6	77.0	77.5
	静 岡	48.3	57.5	61.4	68.7	71.9	77.4	76.2	76.9	78.4	77.4	79.6	79.5	79.9	80.3		静 岡	48.3	57.5	61.4	68.7	71.9	77.4	76.2	76.9	78.4	77.4	79.6	79.5	79.9	80.3
	愛 知	46.8	55.6	59.8	67.2	70.6	76.3	75.0	75.8	77.6	76.5	78.8	78.6	79.0	79.5		愛 知	46.8	55.6	59.8	67.2	70.6	76.3	75.0	75.8	77.6	76.5	78.8	78.6	79.0	79.5
	三 重	49.0	56.9	60.8	68.3	71.6	77.5	76.2	77.0	78.6	77.7	79.4	79.3	79.5	80.0		三 重	49.0	56.9	60.8	68.3	71.6	77.5	76.2	77.0	78.6	77.7	79.4	79.3	79.5	80.0
	滋 賀	45.3	53.9	58.9	67.0	70.6	76.1	74.8	75.4	77.4	76.4	78.7	78.5	78.9	79.5		滋 賀	45.3	53.9	58.9	67.0	70.6	76.1	74.8	75.4	77.4	76.4	78.7	78.5	78.9	79.5
	京 都	45.2	53.2	57.1	63.7	67.4	73.2	71.3	71.9	74.9	73.5	76.3	76.1	76.5	77.1		京 都	45.2	53.2	57.1	63.7	67.4	73.2	71.3	71.9	74.9	73.5	76.3	76.1	76.5	77.1
	大 阪	45.4	53.4	57.0	63.6	67.2	73.1	71.5	72.1	74.5	73.2	76.0	75.8	76.2	76.8		大 阪	45.4	53.4	57.0	63.6	67.2	73.1	71.5	72.1	74.5	73.2	76.0	75.8	76.2	76.8
	兵 庫	47.2	55.9	59.6	66.1	69.4	75.0	73.6	74.1	76.2	75.1	77.4	77.3	77.7	78.1		兵 庫	47.2	55.9	59.6	66.1	69.4	75.0	73.6	74.1	76.2	75.1	77.4	77.3	77.7	78.1
	奈 良	49.9	57.6	61.1	66.4	69.1	74.2	72.8	73.4	75.5	74.5	76.5	76.4	76.6	77.1		奈 良	49.9	57.6	61.1	66.4	69.1	74.2	72.8	73.4	75.5	74.5	76.5	76.4	76.6	77.1
	和 歌 山	45.3	52.0	56.3	63.2	67.1	73.3	71.6	72.7	74.9	73.7	76.4	76.3	76.9	77.2		和 歌 山	45.3	52.0	56.3	63.2	67.1	73.3	71.6	72.7	74.9	73.7	76.4	76.3	76.9	77.2
	鳥 取	48.8	57.9	62.1	70.4	74.2	79.4	78.3	79.0	80.4	79.5	81.6	81.5	81.9	82.2		鳥 取	48.8	57.9	62.1	70.4	74.2	79.4	78.3	79.0	80.4	79.5	81.6	81.5	81.9	82.2
	島 根	50.4	60.8	64.6	71.5	74.8	80.3	79.2	80.0	81.3	80.4	82.6	82.5	82.9	83.3		島 根	50.4	60.8	64.6	71.5	74.8	80.3	79.2	80.0	81.3	80.4	82.6	82.5	82.9	83.3
	山 西	50.2	59.4	62.5	69.1	72.2	77.8	76.7	77.3	78.9	78.0	80.0	79.8	80.2	80.7		山 西	50.2	59.4	62.5	69.1	72.2	77.8	76.7	77.3	78.9	78.0	80.0	79.8	80.2	80.7
	広 島	45.6	54.4	57.8	64.5	67.8	73.4	72.1	72.8	74.7	73.6	75.9	75.7	76.1	76.8		広 島	45.6	54.4	57.8	64.5	67.8	73.4	72.1	72.8	74.7	73.6	75.9	75.7	76.1	76.8
	山 口	49.1	58.6	62.6	69.5	72.6	78.2	77.1	77.7	79.2	78.3	80.1	80.0	80.3	80.8		山 口	49.1	58.6	62.6	69.5	72.6	78.2	77.1	77.7	79.2	78.3	80.1	80.0	80.3	80.8
	徳 島	39.6	46.8	50.4	57.1	61.8	68.5	66.9	67.9	70.0	68.7	71.5	71.4	71.9	72.4		徳 島	39.6	46.8	50.4	57.1	61.8	68.5	66.9	67.9	70.0	68.7	71.5	71.4	71.9	72.4
	香 川	45.6	53.7	57.1	64.8	68.0	73.6	72.4	73.1	74.8	73.7	75.8	75.7	76.1	76.5		香 川	45.6	53.7	57.1	64.8	68.0	73.6	72.4	73.1	74.8	73.7	75.8	75.7	76.1	76.5
	愛 媛	45.8	53.7	59.5	67.7	71.0	76.8	75.4	76.2	78.0	77.0	79.3	79.2	79.6	80.1		愛 媛	45.8	53.7	59.5	67.7	71.0	76.8	75.4	76.2	78.0	77.0	79.3	79.2	79.6	80.1
	高 知	43.2	51.8	54.3	61.7	64.8	71.1	69.4	70.4	72.7	71.6	74.6	74.4	75.1	75.5		高 知	43.2	51.8	54.3	61.7	64.8	71.1	69.4	70.4	72.7	71.6	74.6	74.4	75.1	75.5
	福 岡	49.8	57.1	60.6	67.6	70.8	76.8	75.4	76.1	78.1	76.9	79.3	79.2	79.7	80.1		福 岡	49.8	57.1	60.6	67.6	70.8	76.8	75.4	76.1	78.1	76.9	79.3	79.2	79.7	80.1
	佐 賀	48.7	57.7	61.3	68.8	72.2	78.8	77.6	78.4	80.0	79.0	81.0	80.9	81.3	81.6		佐 賀	48.7	57.7	61.3	68.8	72.2	78.8	77.6	78.4	80.0	79.0	81.0	80.9	81.3	81.6
	長 崎	48.9	57.3	60.9	67.8	71.6	77.3	76.0	76.7	78.5	77.5	79.7	79.6	80.2	80.5		長 崎	48.9	57.3	60.9	67.8	71.6	77.3	76.0	76.7	78.5	77.5	79.7	79.6	80.2	80.5
	熊 本	52.0	59.6	62.5	69.5	72.5	78.4	77.1	77.9	79.6	78.4	81.2	81.0	81.5	81.9		熊 本	52.0	59.6	62.5	69.5	7									